Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名:主要経済指標予定(1月22日～1月26日)
～CPIはコンセンサス下振れのリスクも～

発表日: 2007年1月19日(金)

第一生命経済研究所　経済調査部
担当　日本経済短期チーム
ＴＥＬ：03-5221-4528

＜1月22日～1月26日の主なイベント、指標予定＞

	指標名	当社予測	市場予測	予測レンジ	前回結果
1 月 22 日　(月)	14:00　12 月チェーンストア販売統計				
	既存店売上高(前年比)	—	—	—	▲2.7%
	16:00　12 月コンビニエンスストア統計				
	既存店売上高(前年比)	—	—	—	▲1.5%
	未定　1 月月例経済報告				
	福井日銀総裁講演				
1 月 23 日　(火)	14:00　金融政策決定会合議事要旨	—	—	—	—
	(12 月 18･19 日分)				
1 月 24 日　(水)	8:50　1 月主要銀行貸出アンケート調査	—	—	—	—
	8:50　11 月全産業活動指数 (前月比)	▲0.2%	▲0.1%	▲0.4～＋0.1%	＋1.7%
	(前年比)	＋1.6%	—	—	＋2.7%
1 月 25 日　(木)	8:50　12 月貿易統計　輸出金額 (前年比)	＋10.5%	—	—	＋12.1%
	輸入金額 (前年比)	＋7.0%	—	—	＋7.5%
	貿易黒字 (原数値)	11,937 億円	12,000 億円	8,850～13,300 億円	9,112 億円
	須田日銀審議委員講演				
1 月 26 日　(金)	8:30　12 月消費者物価指数･全国コア(前年比)	＋0.2%	＋0.2%	＋0.1～＋0.2%	＋0.2%
	全国総合(前年比)	＋0.3%	＋0.3%	＋0.1～＋0.3%	＋0.3%
	8:30　1 月消費者物価指数･ 東京コア(前年比)	＋0.1%	＋0.2%	0.0～＋0.2%	＋0.2%
	東京総合(前年比)	＋0.2%	＋0.2%	▲0.2～＋0.4%	＋0.3%
	8:50　12 月企業向けサービス価格指数(前月比)	—	—	—	＋0.1%
	(前年比)	—	—	—	▲0.1%

(注)市場予測は Bloomberg 調査をベースに作成

【注目ポイント】

最大の注目は、26 日に公表される消費者物価指数。全国ＣＰＩ（コア）のコンセンサスは前年比＋0.2%と前月と同じ伸びが予想されているが、＋0.1%に伸びが鈍化する可能性も十分にある。また、１月の東京都区部に関しても、前年比＋0.1%とコンセンサス（同＋0.2%）を下回る可能性がある。石油製品価格の値下がりが引き続きＣＰＩを押し下げるだろう。なお、１月には電気・都市ガス料金が値上げされたが、昨年１月に行われた値上げ幅の方が大きかったため、前年比でみれば電気・都市ガス代の伸び率はむしろ若干低下する見込み。仮に、12 月全国、１月東京都区部ともコンセンサスを下振れた場合、かなり早い時期でのＣＰＩコアマイナス転化が意識されてくる可能性が高い。こうなれば、利上げを目論む日銀にとってはかなりの逆風になる。

また、貿易統計（25 日公表）では、生産の先行きを占う上で輸出の動向に注目。11 月までの輸出は、自動車輸出の好調などを背景として予想外に堅調に推移している。12 月については前月から伸びは鈍化すると予想されているが、減速は緩やかなものにとどまるとの見方が多いようだ。

その他の統計では、チェーンストア販売（22 日公表）も、足元の消費動向を確認する意味で重要。先に公表されている百貨店販売では、暖冬の影響から冬物衣料の売れ行きが鈍く、大幅に落ち込んでいる。チェーンストア販売も、前月から悪化する可能性が高いだろう。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

【重要指標の当社予測とコメント】

11 月全産業活動指数（前年比）　**当社予想：前月比 ▲0.2%　中央値：同 ▲0.1%**

11 月の全産業活動指数は前月比▲0.2%（前年同月比＋1.6%）と予測する。11 月は鉱工業生産指数が前月比プラスとなったが、ウエイトの大きい第３次産業活動指数がマイナスとなったため、全産業活動指数としてはマイナスで推移すると見込まれる。もっとも 10-11 月で均してみれば７－９月期対比で＋1.1%となり、回復基調そのものに変わりはないといえるだろう。10－12 月期のＧＤＰは高い伸びが見込まれるが、供給側からも景気の回復を確認できる結果になりそうだ。（エコノミスト：結城良彦）

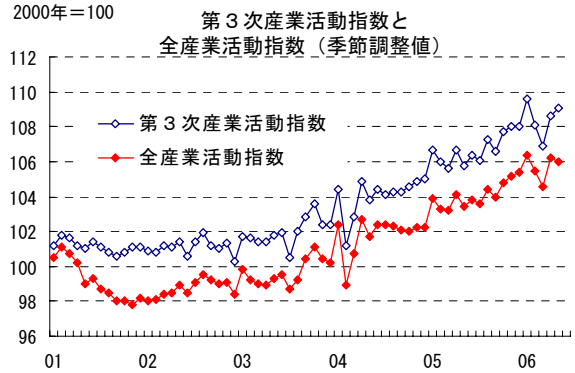
12 月貿易統計（黒字額・原数値）　**当社予想：１兆 1,937 億円　中央値：１兆 2,000 億円**

12 月の貿易黒字額は１兆 1,937 億円、前年比＋31.4%と予測する。自動車輸出が引き続き堅調に推移し、米国経済の減速も軽微なものとなっていることから輸出の減速は緩やかなペースにとどまる。一方、輸入は原油価格の下落が押し下げに寄与する見込みである。輸出は緩やかに減速するものの、輸入の伸びの鈍化の方が大きいことから、貿易黒字額は前年を上回る見込みである（副主任エコノミスト：長谷山則昭）

12 月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合）　**当社予想：前年比＋0.2%　中央値：同＋0.2%**

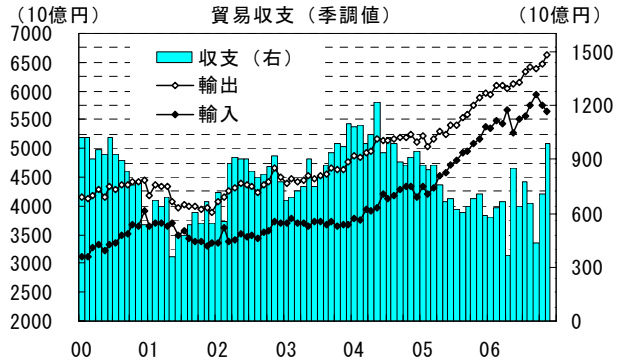
12 月の全国消費者物価（生鮮食品除く総合）は前年比+0.2%と、前月と同じ伸びになると予想する。石油製品価格の押し上げ寄与は 11 月と比較して▲0.03%ポイント程度縮小する見込みであり、引き続きＣＰＩを押し下げる。その他の品目についても、12 月の東京都区部の動きを見る限り、大きく改善することはないだろう。先行きに関しても、石油製品価格による押し上げ寄与の縮小が続くため、当面、物価上昇率は低位にとどまる。2006 年１月以降に伸びが高まっていた裏が出やすいことを踏まえると、2007 年以降のリスクはむしろ下振れだ。ガソリン価格動向次第では、消費者物価が春先にかけて一時的にマイナスに転じる可能性もみておきたい。（副主任エコノミスト：新家義貴）

資料１



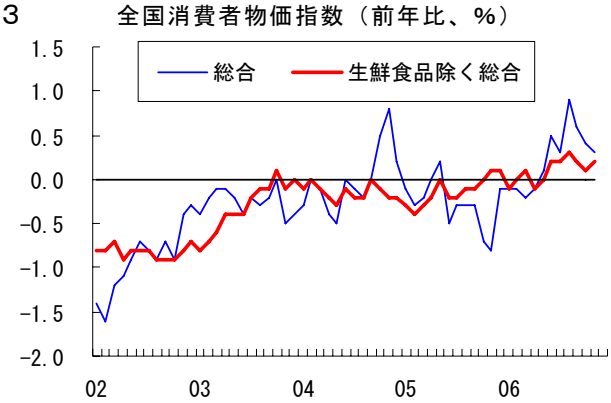
（出所）経済産業省

資料２



（出所）財務省「貿易統計」

資料３



出所：総務省「消費者物価指数」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

１月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1/1	2 *(米)12月ISM製造業景況指数* *(欧)12月製造業PMI*	3 *(米)11月建設支出* *(ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ)10-12月期実質GDP*	4 *(米)11月製造業受注* *(米)12月ISM非製造業景況指数* *(米)11月中古住宅販売保留* *(欧)12月消費者物価(速報)*	5 12月マネタリーベース(8:50) 12月自動車販売(14:00) 12月軽自動車販売(14:00) *(米)12月雇用統計*
8 *(米)12月自動車販売台数* *(米)11月消費者信用残高*	9	10 10年利付国債 *(米)11月貿易収支* *(米)11月卸売在庫*	11 11月景気動向指数(14:00) *(米)11月財政収支* *(欧)ECB理事会* *(英)BOE金融政策委員会*	12 12月マネーサプライ(8:50) 12月貸出・資金吸収(8:50) 12月景気ウォッチャー(14:00) *(米)12月小売売上高* *(米)11月企業在庫* *(米)12月輸入物価*
15 11月機械受注(8:50)	16 12月企業物価(8:50) 11月鉱工業指数・確(13:30) 11月商業販売統計・確(13:30) 5年利付国債 *(米)1月NY連銀製造業指数*	17 11月国際収支(8:50) 12月消費動向調査(14:00) 金融政策決定会合(～18日) *(米)ベージュブック* *(米)12月鉱工業生産* *(米)12月生産者物価* *(米)11月対米証券投資* *(米)1月NAHB住宅指数*	18 1月ロイター短観(8:30) 11月第3次産業活動指数(8:50) 12月交易条件(8:50) 11月毎月勤労統計・確(10:30) 11月景気動向指数改訂(14:00) 1月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 12月全国百貨店売上高 30年利付国債 *(米)12月消費者物価* *(米)12月住宅着工件数* *(米)12月建設許可件数* *(米)12月景気先行指数* *(米)1月フィラ連銀指数*	19 11月建設総合統計(14:00) *(米)1月ﾐｼｶﾞﾝ大ｾﾝﾁ(速)*
22 12月ﾁｪｰﾝｽﾄｱ販売統計(14:00) 12月ｺﾝﾋﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱ統計(16:00) 1月月例経済報告 福井日銀総裁講演	23 金融政策決定会合議事要旨 (12月18・19日分) *(米)1月ﾘｯﾁﾓﾝﾄﾞ連銀指数*	24 1月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 11月全産業活動指数(8:50) *(英)10-12月期実質GDP*	25 12月貿易統計(8:50) 20年利付国債 須田日銀審議委員講演 *(米)12月中古住宅販売件数* *(米)12月求人広告件数* *(独)1月Ifo景況感指数* *(中国)10-12月期実質GDP* *(韓国)10-12月期実質GDP*	26 12月消費者物価・全(8:30) 1月消費者物価・都(8:30) 12月CSPI(8:50) *(米)12月耐久財受注* *(米)12月新築住宅販売件数*
29 12月商業販売統計(8:50)	30 12月労働力調査(8:30) 12月家計調査(8:30) 12月職業紹介状況(8:30) 12月鉱工業生産(8:50) 2年利付国債	31 12月毎月勤労統計(10:30)年平均同時公表 12月住宅着工統計(14:00) *(米)10-12月期GDP(速)* *(米)FOMC* *(米)10-12月期雇用コスト指数* *(米)1月シカゴPMI* *(米)12月建設支出* *(欧)1月消費者物価(速)* *(ﾌｨﾘﾋﾟﾝ)10-12月期実質GDP*	2/1 1月自動車販売(14:00) 1月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 *(米)12月個人所得・消費* *(米)12月PCEデフレーター* *(米)12月中古住宅販売保留* *(米)1月ISM製造業景況指数* *(欧)1月製造業PMI*	2 1月マネタリーベース(8:50) 12月消費状況調査(14:00) *(米)1月自動車販売台数* *(米)1月雇用統計* *(米)12月製造業受注* *(米)1月ﾐｼｶﾞﾝ大ｾﾝﾁ(確)*

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

２月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
29 12月商業販売統計(8:50)	30 12月労働力調査(8:30) 12月家計調査(8:30) 12月職業紹介状況(8:30) 12月鉱工業生産(8:50) 2年利付国債	31 12月毎月勤労統計(10:30)年平均同時公表 12月住宅着工統計(14:00) *(米)10-12月期GDP(速)* *(米)FOMC* *(米)10-12月期雇用コスト指数* *(米)1月シカゴPMI* *(米)12月建設支出* *(欧)1月消費者物価(速)* *(ﾌｨﾘﾋﾟﾝ)10-12月期実質GDP*	2/1 1月自動車販売(14:00) 1月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 *(米)12月個人所得・消費* *(米)12月PCEデフレーター* *(米)12月中古住宅販売保留* *(米)1月ISM製造業景況指数* *(欧)1月製造業PMI*	2 1月マネタリーベース(8:50) 12月消費状況調査(14:00) *(米)1月自動車販売台数* *(米)1月雇用統計* *(米)12月製造業受注* *(米)1月ﾐｼｶﾞﾝ大ｾﾝﾁ(確)*
5 *(米)1月ISM非製造業景況指数*	6 12月景気動向指数(14:00) 10年物価連動国債	7 *(米)12月消費者信用残高*	8 1月マネーサプライ(8:50) 1月貸出・資金吸収(8:50) 1月景気ウォッチャー 5年利付国債 *(欧)ECB理事会* *(英)BOE金融政策委員会*	9 12月機械受注(8:50)
12 *(米)1月財政収支*	13 1月企業物価(8:50) 1月消費動向調査(14:00) *(米)12月貿易収支* *(欧)10-12月期実質GDP* *(独)10-12月期実質GDP* *(仏)10-12月期実質GDP* *(伊)10-12月期実質GDP*	14 12月国際収支(8:50) 12月鉱工業指数・確(13:30) 12月商業販売統計・確(13:30) *(米)1月小売売上高* *(米)12月企業在庫*	15 2月ロイター短観(8:30) ※10-12月期GDP速報(8:50) 1月交易条件(8:50) 15年変動利付国債 *(米)1月鉱工業生産* *(米)1月輸入物価* *(米)2月NY連銀製造業指数* *(米)12月対米証券投資* *(米)2月フィラ連銀指数* *(米)2月NAHB住宅指数* *＊(ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ)10-12月期実質GDP*	16 12月第3次産業活動指数(8:50) 12月毎月勤労統計・確(10:30) 年平均同時公表 12月景気動向指数改訂(14:00) 12月建設総合統計(14:00) *(米)1月生産者物価* *(米)1月住宅着工件数* *(米)1月建設着工件数* *(米)2月ﾐｼｶﾞﾝ大ｾﾝﾁ(速)*
19 *＊(台湾)10-12月期実質GDP*	20 1月ｺﾝﾋﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱ統計(16:00) 金融政策決定会合(～21日) ※2月月例経済報告	21 2月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) *(米)1月消費者物価* *(米)1月景気先行指数*	22 ※1月貿易統計(8:50) 20年利付国債 *(米)1月求人広告件数* *＊(ﾏﾚｰｼｱ)10-12月期実質GDP*	23 12月全産業活動指数(8:50) 1月CSPI(8:50) *(独)2月Ifo景況感指数*
26 金融政策決定会合議事要旨 (1月17・18日分)	27 2年利付国債 *(米)1月耐久財受注* *(米)1月中古住宅販売件数* *(米)2月リッチモンド連銀指数*	28 1月鉱工業生産(8:50) 1月商業販売統計(8:50) 1月住宅着工統計(14:00) *(米)10-12月期実質GDP* *(米)2月シカゴPMI* *(米)1月新築住宅販売件数* *(ｲﾝﾄﾞ)10-12月期実質GDP* *(香港)10-12月期実質GDP*	3/1 2月自動車販売(14:00) 2月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 *(米)1月個人所得・消費* *(米)2月ISM製造業指数* *(米)1月PCEデフレーター* *(米)1月建設支出* *(欧)2月製造業PMI* *(欧)2月消費者物価(速)*	2 1月消費者物価・全(8:30) 2月消費者物価・都(8:30) 1月家計調査(8:30) 1月労働力調査(8:30) 1月職業紹介状況(8:30) 2月マネタリーベース(8:50) 1月毎月勤労統計(10:30) *(米)2月ﾐｼｶﾞﾝ大ｾﾝﾁ(確)* *(米)2月自動車販売台数*

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。